

JA岩井半期開示ディスクロージャー

令和元年上半期

1. 金融再生法開示債権(単体)

(単位:百万円)

債権区分	令和元年7月末	平成31年1月末	増減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	0	0	0
危険債権	4	5	△ 1
要管理債権	0	0	0
正常債権	9,604	8,842	761
合 計	9,608	8,848	760

注) 単位未満の端数は切り捨てて表示しております。よって合計額等が一致しない場合があります。

2. 単体自己資本比率(新BIS基準適用)

令和元年7月末	平成31年1月末
22.73%	22.39%

注) 単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

3. 主要勘定の状況

(単位:百万円)

	令和元年7月末	平成31年1月末	平成30年7月末
貯 金	63,836	63,645	63,615
貸 出 金	9,597	8,836	8,382
預 金	53,263	53,079	54,588
有価証券	2,979	2,856	3,146

4. 有価証券等時価情報

(単位:百万円)

種 類	令和元年7月末			平成31年1月末		
	取得価格	時価	評価損益	取得価格	時価	評価損益
満期保有目的	1,099	1,115	15	1,099	1,123	23
そ の 他	1,700	1,879	178	1,597	1,756	159
合 計	2,800	2,994	193	2,697	2,879	182

注) 単位未満の端数は切り捨てて表示しております。よって合計額等が一致しない場合があります。

- 7月末の有価証券の時価は7月末日における市場価格に基づく時価としています。
- 取得価格は償却原価法適用前、減損処理前のものです。

5 地域貢献活動

地域貢献活動

地域社会とのふれあいを大切に豊かな社会づくりを展開しております

① 地域貢献の全般に関する事項

当組合は、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、総合扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組合であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

当組合の資金は、その大半が組合員の皆様などからお預かりした、大切な財産である「貯金」を源泉としております。当組合では資金を必要とする組合員の皆さま方や、地方公共団体などにもご利用いただいております。

当組合は、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて、事業活動を展開しています。

また、JAの総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、1支店1事業活動をはじめとするコミュニティふれあい活動や助け合い活動を通じた社会貢献に努めています。

② 地域からの資金調達の状況

組合員、利用者の皆さまのニーズにお応えするため、夏期・冬期には定期貯金「えん結びキャンペーン」の実施、公的年金のお受け取りに、当組合をご利用の方を対象にした「年金友の会」の活動など、目的に応じて各種貯金の取扱をしております。

③ 地域への資金供給の状況

お客様からお預かりした大切な貯金を、資金を必要とする組合員の皆さまや事業者の方々などに、適正に供給しております。

④ 文化的・社会的貢献に関する事項

当組合は、組合員・利用者・地域の皆様にご満足いただけるようきめ細やかなサービスを提供するとともに、地域社会とのふれあいを大切に豊かな社会づくりを展開しております。

また、地域社会の一員としての責任を自覚し、各種の行事や催し物への参画や活動をとおして、「人間と自然と産業の豊かな調和」「高齢化社会に対応した高齢者の健康の増進」「こころ豊かな生活の現実」「より美しい地域社会づくり」をめざした多彩な運動を展開し、地域社会発展のお役に立ちたいと考えております。

今後とも、協同組合運動の理念のひとつである「一人は万人のために、万人は一人のために」を念頭におき、よりよき地域社会人として、組合員の皆様をはじめ地域社会の皆様と歩んでいきたいと思っております。

◇環境にやさしい農業の実践と安全な農産物づくり

市農業用プラスチック適正処理推進協議会の活動として、年2回、使用済み農業用ビニー

ル、ポリオレフィンを回収し、産業廃棄物の適正処理を図っています。

また、消費者が求める「安全・安心・新鮮」な農産物志向に応えるため、栽培管理台帳記載運動を進め、生産履歴の明確化を図っています。

更に農政運動の一環として、国民の主食である米の消費拡大を目的とした各種イベントに取り組んでいます。

◇高齢者の健康サポートと福祉活動

JA年金友の会では、グラウンドゴルフ大会やボーリング大会の開催や親睦旅行などの活動を展開し、高齢者の健康で生きがいある生活を目指した組織活動の充実に努めています。

また、高齢化社会に対応する事業として訪問介護事業、居宅介護支援事業を展開し、ホームヘルパーの派遣を行っています。

◇次世代への「食農教育」の支援

坂東市の野菜が小学校の授業で学ぶ教材の副読本に紹介されていることから、市内外の多くの児童たちが予冷センターを訪れ、野菜づくりや野菜の集出荷の状況を学び、坂東市の産業として重要な位置を占める農業に対してより一層の理解を深めてまいりました。

また、食育研究会が中心となり、市内の小中学校で野菜づくり体験・調理教室などを開催し、地域農業と食の大切さを伝えています。